

長野県飯田市「大学連携コーディネーター」募集要項

飯田市は長野県の南部に位置し、天竜川を中心に中央アルプスと南アルプスに囲まれ豊かな自然に抱かれた飯田・下伊那地域の中心都市です。古くから交通の要衝として発展してきた当市は、他の地域から人材や情報を受け入れながら独自の文化や価値を創造・蓄積してきた歴史と、公民館活動やまちづくり活動などに住民が自発的に取り組む中で育まれた豊かな学びの土壌を有しています。また、将来リニア中央新幹線や三遠南信自動車道が開通することにより、交通の利便性が向上して長野県の南の玄関口となり、都市部との交流もさらに盛んになることが期待されています。

そんな飯田市は、地域の仕組みや産業などの独自性、歴史、文化、自然などの特徴的な地域資源を有しており、これらを学びの宝庫と捉えて、全国から年間延べ700人を超える大学の研究者や学生が調査研究や実習等で当地域を訪れています。また、飯田市に価値を感じ、関心を有する大学研究者で組織されたネットワーク「学輪IIDA」を中心として、住民組織、行政、教育界、産業界等と連携した多彩な大学連携の取組が展開されています。こうした外部の知見をもたらしてくれる人々の存在は、飯田市の地域づくり・地域活性化の大きな推進力でもあります。

2022年に大学生が飯田市の大学連携について行った調査によると、飯田市でフィールドワーク等の取組に参加した大学生の1/4が、その後も飯田市の地域や住民と関わりたいと感じていることが分かりました。しかし、飯田市を訪れた大学生たちがその後当地域に継続的に関わっていくことのできる仕組みや受け皿が整備されておらず、せっかくご縁があった多くの大学生との関係性を維持することができずに、結果として交流・関係人口の取りこぼしにつながっていました。

そこで、飯田市では地域おこし協力隊の制度を活用して、飯田市を訪れる大学生と継続的な関係性を築くとともに、地域の資源や課題と関係するキーマンを発掘し、大学や大学生等と地域を接続して活動のサポートを行う、大学連携コーディネーターを設置しています。

このたび大学連携コーディネーターを1名程度募集します。大学生や地域住民などと共に活動しながら、大学連携や地域づくりに携わる仕事です。ご興味のある方はぜひご応募、ご連絡ください。

1 募集名称・人員 大学連携コーディネーター 1名程度

2 活動地域 飯田市内全域（飯田市役所内の関連部署に配置）

3 業務内容（※詳細は第2次選考時に説明します。）

飯田市を訪れる、興味関心を寄せる大学及び大学生の活動支援、大学生や研究者と地域資源や課題の接続、大学生や研究者が地域住民と連携して行う取組の推進を通して、関係人口創出と定着に向けた仕組みの構築に取り組むことが大きなミッションです。

具体的には下記の業務を中心に、個々のスキルを活かした活動を行っていただきます。

（1）大学及び大学生と飯田市の接点拡充

- ・飯田市をフィールドとした調査研究の呼びかけ
- ・飯田市での学びを充実させるための学習プログラムの構築
- ・情報メディアやSNS等を活用した、飯田市や大学連携に関する情報発信

(2) 大学及び大学生同士のつながりづくり支援

- ・学輪 IIDA の取組等で飯田市について学ぶ大学や大学生との関係構築
- ・飯田市を基点につなげた大学生や卒業生のネットワークづくり／組織づくり

(3) 大学及び大学生等と地域のつながりづくり支援

- ・大学生等による調査研究等の受入、研究対象（地域）に関する調整、支援
- ・複数大学合同の研究発表会や、地域づくりに関わる諸活動のコーディネート
- ・大学や大学生等の活動と連携する市民の掘り起こし、ネットワークづくり
- ・学びの活動拠点化の推進（ムトスぷらざを中心に）

(4) その他

- ・大学連携業務全般の補助
- ・情報交換や研修の機会への参加
- ・飯田市が実施する大学連携事業の運営・補助
- ・SNS を用いた情報発信

4 応募要件

下記の要件をすべて満たす方とします。

- ・地域おこし協力隊としての条件を満たす方。具体的には、応募時点で三大都市圏、もしくは政令指定都市、もしくは地方都市（過疎、山村、離島、半島などの地域に指定された地域を除く）に居住している方、または地域おこし協力隊員として2年以上活動し、解任の日から1年以内の方で、赴任後飯田市に住民票を異動して居住し活動できる方
- ・大学連携を通じた地域づくりの実践に興味のある方
- ・関係各者と協力しながら意欲的に活動でき、積極的に企画・提案・実行できる方
- ・大学生の場合は、休学（又は退学）をして赴任することができる方
- ・普通自動車運転免許を有する方
- ・パソコン等の情報通信機器を使用でき、ワード、エクセル、SNS 等を活用できる方
- ・地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条に規定する欠格条項に該当せず、心身ともに健康で誠実に業務を行うことができる方

◇必須ではありませんが、以下の要件を満たす方の応募を期待します。

- ・大学生や大学教員と連携した取組の企画・運営に関する知識や経験のある方
- ・飯田市にゆかりのある方、関心の高い方
- ・将来的に、飯田市での定住・就業・起業を考えている方

5 任用形態及び期間

- ・飯田市の会計年度任用職員（パート）として飯田市長が任用します。
- ・期間は、任用の日から令和9（2027）年3月31日までの予定です。
- ・勤務実績に基づく能力の実証により、公募によらない再度の任用を行う場合があります。

※最長3年まで更新できます（1年ごとに判断する）

※着任時期については応相談

6 報酬・勤務日数・勤務時間・休暇等

- ・報酬は月額266,600円とします。(各種手当、賞与等を含みます。)
- ・原則として週5日の勤務とし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休日とします。夜間・休日に勤務した場合には振替(代休)での対応とします。
- ・原則として当初の活動は午前9時00分から午後5時00分とし、途中1時間の休憩をはさみます(1日7時間勤務)。ただし高校生の放課後活動に合わせ、出退勤時間を変動していく予定です。
- ・有給休暇は1年度につき10日とします。(※任用日によります。)

7 待遇及び福利厚生

- ・社会保険等(雇用保険、厚生年金、健康保険)に加入します。
- ・活動に必要な経費(消耗品購入、研修参加費等)は予算の範囲内で支給します。
- ・活動に関連して出張する場合は、市の一般職員の例により旅費を支給します。
- ・住居に係る費用は予算の範囲内で市が負担します。ただし、転居に係る費用、生活用備品、光熱水費、個人の携帯電話等の通信費は自己負担とします。

8 応募手続き

- 応募受付期間 令和8年5月22日(金)まで(必着)
- 提出書類
 - ・応募用紙(飯田市のウェブサイトからダウンロードしてください。)
 - ・履歴書(写真を添付してください。)
 - ・自己PR文(A4横書き1枚程度、書式自由で、応募の動機、活かせる経験や能力等、活動に対する意気込み等を自己アピールしてください。)
 - ・住民票の写し(3か月以内に取得したもの。コピー可)
 - ・運転免許証のコピー
- 提出方法 郵送または持参
- その他
 - ・応募に係る費用はすべて応募者の自己負担となります。
 - ・提出された書類は返却しません。また、提出された個人情報については、本公募のみに使用し、その他の用途には使用しません。
 - ・受付期間終了後、応募者の書類及び面接選考を実施します。
- 活動内容案内
 - ・活動内容、勤務地等の案内をご希望される方は、希望日時を電話にて下記問い合わせ先までご連絡ください。(案内は平日とします。飯田市までの交通費、昼食等は個人負担となります。)
 - ・取組の様子は、「学輪 IIDA ウェブサイト」でもご覧になれます。
学輪 IIDA ウェブサイト URL : <https://gakurin-iida.jpn.org>

9 選考方法

- 第1次選考
 - ・応募書類の受付後、随時書類審査により1次選考を行います。

・選考結果は、応募者全員に履歴書に記載の住所へ文書で個別に通知します。

○ 第2次選考

- ・第1次選考合格者を対象に、飯田市において面接試験を実施します。
- ・試験日時、場所については、第1次選考結果通知と共に対象となる方にお知らせします。
- ・第2次選考会場までの交通費等は応募者の負担となります。

○ 最終選考結果の通知

- ・第2次選考終了後、文書で個別に通知します。

○ その他

- ・厳正なる選考の結果、当方の採用基準に達する方がいない場合は、採用者なしとさせていただきます。

10 応募先、お問い合わせ

事前に現地を確認したい、内容について詳しく聞きたいといった相談も含め、お気軽にお問い合わせください。

飯田市役所 企画部 大学誘致連携推進室 大学連携係

担当 森下・宮澤

〒395-8501 飯田市大久保町2 5 3 4 番地

TEL：0265-22-4511（内線 2251） FAX：0265-24-4511

E-mail：idaigaku@city.iida.nagano.jp